



平成24年就業構造基本調査の結果について

茨城県企画部統計課人口労働グループ

1 はじめに

就業構造基本調査は、ふだんの就業・不就業の状態を調査し、全国及び地域別の就業構造や就業異動の実態などを明らかにし、各種行政施策立案の基礎資料を得ることや学術研究のための利用に資することを目的とした統計調査です。

この調査は昭和31年からおおむね3年ごとに実施しており、昭和57年以降は5年ごとに実施しています。今回は平成24年10月1日を調査期日として、全国の約47万世帯（本県：約1万世帯）に居住する15歳以上の世帯員約100万人（本県：約2万4千人）を対象として調査を行いました。

本県の結果については、下記のとおりです。

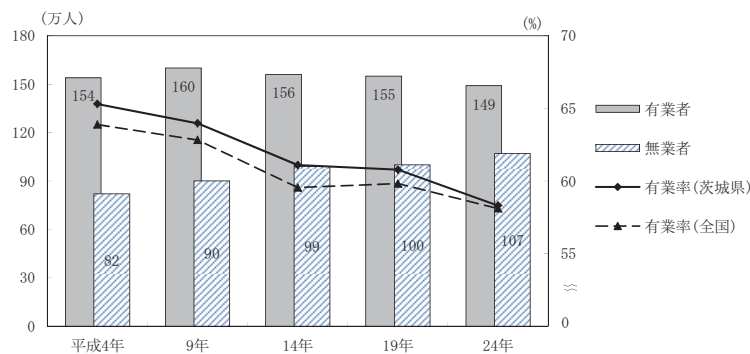
用語の解説 有業者…ふだん収入を得ることを目的として仕事をしており、調査日以降もしていくことになっている者及び仕事は持っているが現在は休んでいる者
 無業者…ふだん全く仕事をしていない者及び臨時的にしか仕事をしていない者
 有業率…15歳以上人口に占める有業者の割合

2 本県の結果

(1) 15歳以上人口の就業状態

- 有業者は148万8千人となっており、平成19年と比べ4.2%減少している一方、無業者は106万5千人となっており、平成19年と比べ6.2%増加しています。
- 有業率は平成4年以降低下が続いており、今回の調査では58.3%と、平成19年より2.5ポイント低下しました。

有業者数，無業者数及び有業率の推移（平成4年～24年）



男女，就業状態別15歳以上人口及び有業率（平成19年，24年）

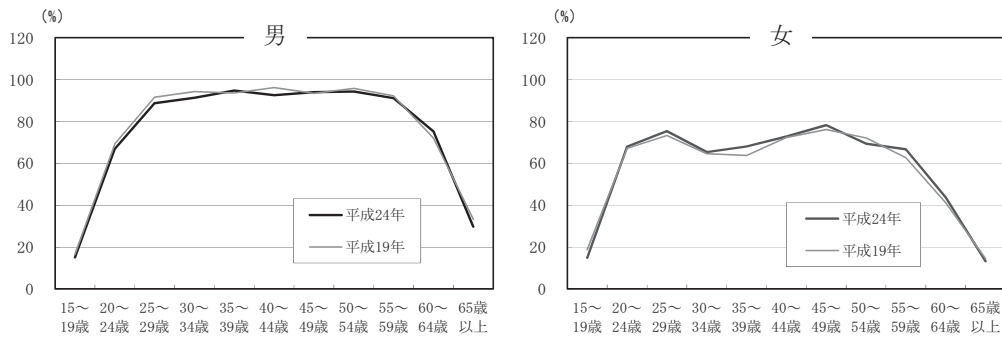
年次・区分		(千人，%，ポイント)			
		15歳以上人口	有業者	無業者	有業率
平成24年	総数	2,552.9	1,488.3	1,064.6	58.3
	男	1,265.9	876.8	389.0	69.3
	女	1,287.1	611.4	675.6	47.5
平成19年	総数	2,555.5	1,553.2	1,002.3	60.8
	男	1,263.2	918.2	345.1	72.7
	女	1,292.3	635.0	657.2	49.1
増減実数 (増減率)	総数	-2.6 (-0.1)	-64.9 (-4.2)	62.3 (6.2)	-2.5 -
	男	2.7 (0.2)	-41.4 (-4.5)	43.9 (12.7)	-3.4 -
	女	-5.2 (-0.4)	-23.6 (-3.7)	18.4 (2.8)	-1.6 -



(2) 男女、年齢階級別の有業率

- 男性は低下した年齢階級が多く、女性は上昇した年齢階級が多くなっています。
- 女性の有業率は「30～34歳」(65.4%)及び「35～39歳」(68.0%)の30代を底とするM字型を示しています。

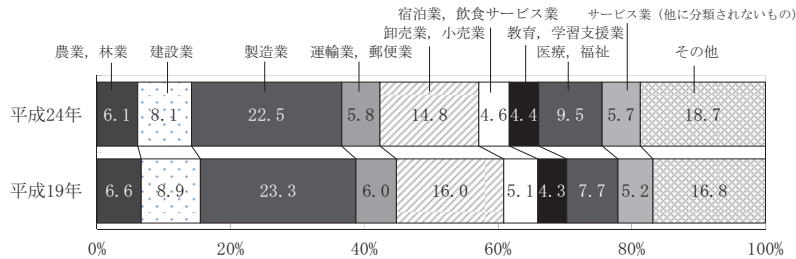
男女、年齢階級別有業率（平成19年，24年）



(3) 産業大分類別の有業者数

- 「製造業」が32万3千人（有業者に占める割合22.5%）と最も多く、次いで「卸売業・小売業」が21万2千人（同14.8%），「医療，福祉」が13万7千人（同9.5%）などとなっています。
- 平成19年と比べると，「医療，福祉」などで増加し，「製造業」，「卸売業・小売業」などで減少しています。

産業大分類別有業者の割合（平成19年，24年）



(4) 職業大分類別の有業者数

- 「生産工程従事者」が28万人（有業者に占める割合19.4%）と最も多く、次いで「事務従事者」が26万7千人（同18.5%），「専門的・技術的職業従事者」が21万人（同14.6%）などとなっています。
- 平成19年と比べると，「専門的・技術的職業従事者」，「事務従事者」などで増加し，「生産工程従事者」などで減少しています。

職業大分類別有業者の割合（平成19年，24年）

